

理 科

理科で求める子どもの姿

自然とのかかわりを深めながら、見いだした問いを友だちと共に論理的に考え、解決していく子ども

「自然とのかかわりを深める」とは

子どもが諸感覚を働かせ、自然の事物・現象に親しむことで問いを見いだすこと

「見いだした問いを友だちと共に論理的に考え、解決する」とは

見いだした問いを追究するために、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を友だちと共に筋道を立てて考えたり、科学的な見方や考え方を創り上げたりすること



育みたい資質や能力

求め続ける力

自然の事物・現象から問いを見だし、見通しをもって解決していく力

共に学ぶ力

互いの見方や考え方を交流したり、その妥当性を吟味したりする力

見つめる力

共に創り上げてきた見方や考え方の変容を振り返り、感じたことや分かったことを自覚する力



理科で大切にしていきたいこと

(1) ありのままの自然とかかわる「『〇〇の科学』への誘い(いざない)」

- 自然の事物・現象との出会いの工夫
- 子ども一人一人に、自然の事物・現象とじっくりかかわらせること
- 自分のこととして問いを見いだすこと

(2) 『〇〇の科学』へ誘われたことによる論理的な問題解決

- 予想や仮説、解決方法などの見通しを明確にもった観察、実験など
- 観察、実験などで得られた結果を自分の解釈に基づいた話し合い

